

常総市都市計画マスタープランの策定にあたって

常総市は、平成 18 年 1 月 1 日に水海道市と石下町が合併して誕生しました。平成 20 年 3 月には、「常総市総合計画」を策定し、「水とみどりの環境を生かし、常総市を担う子供たちを育み、健やかに暮らせるまちづくり」を基本理念にまちづくりを進めています。



常総市のまちづくりを取り巻く状況をみると、少子高齢化や産業構造の変容等の全国的な動向とともに、つくばエクスプレス開業に伴う周辺地域での都市機能の集積が進んでいます。一方、本市においては首都圏中央連絡自動車道(仮称)水海道 IC の整備が進められており、人的・物的交流の促進が期待されています。

この度策定しました「常総市都市計画マスタープラン」は、「常総市総合計画」をもとに、都市計画分野に関する基本的な方針を定める計画です。本計画では、常総市が有する地域資源や都市機能等、常総市を構成する様々な要素をもとに将来都市像を描き、実効性を有する計画としていくことを基本的な理念とし、「**地域の創造力を実現する”まちづくり”**」という都市づくりの目標を定め、**調和のとれた都市構造の構築、多世代がイキイキと暮らす「日常生活圏」の創造、「魅力ある常総」の発信力の強化、「持続性のある創造」を実現するまちづくりシステムの構築**を都市づくりの基本方針としています。

今後、本計画に基づき、常総市としての都市づくりを進めてまいります。その推進にあたりましては、行政機関だけでなく、市民や事業者等の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、都市づくりへの参加機会の創出や情報発信等に努めてまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました市民の皆様や策定委員、茨城県関係課等の関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成 22 年 3 月

常総市長 長谷川 典子